

ON BOOKS advance

もったきわめる! 1曲1冊シリーズ ⑦

リヒャルト・ シュトラウス ばらの騎士

小宮正安 著

リヒャルト・シュトラウス:《ばらの騎士》:

オペラと近代ヨーロッパの最後の輝きを宿した奇跡の作品
《ばらの騎士》を詳解!

第1章では、なぜ世紀転換期のウィーンという時代背景を持ちつつモーツァルトの世界に帰るオペラが生まれたのか、という観点から曲の魅力を語る。また第2章ではわかりやすく楽曲の全体像を把握でき、第3章では上演・録音史の概要および名盤CD・DVD21選により、その変遷と各録音の聴きどころをつかめる。

[目次]

第1章

『ばらの騎士』の誕生

～世紀転換期のウィーンが生んだほろ苦い「喜劇」～

第2章

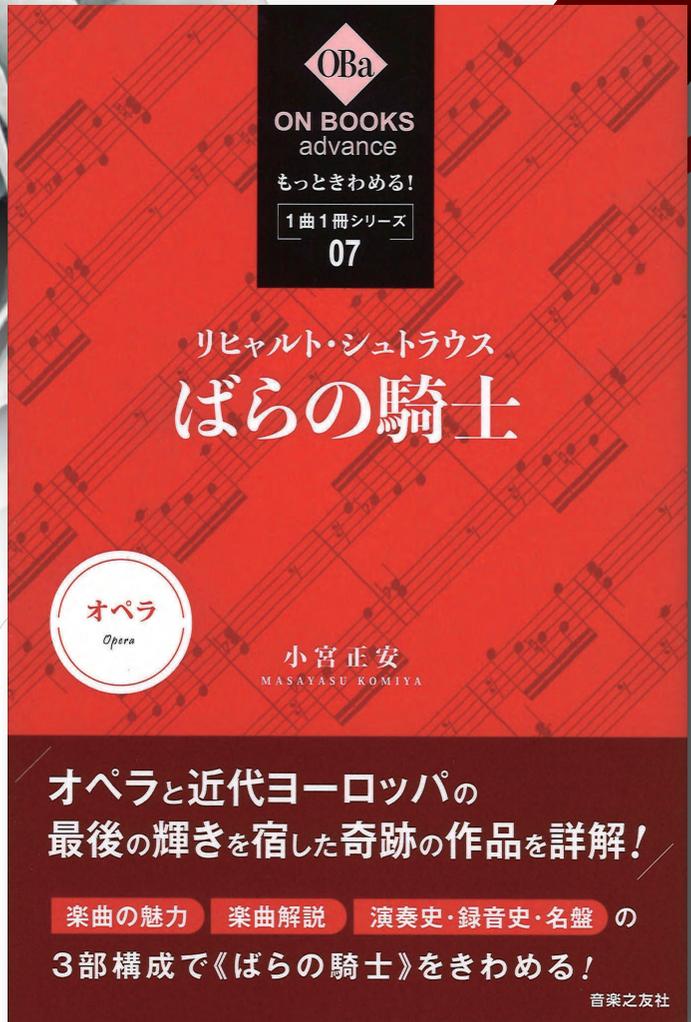
『ばらの騎士』の音楽と内容

～R・シュトラウスとホーフマンスタールが織りなす世界～

第3章

『ばらの騎士』のディスク紹介

～上演史とその変容を交えつつ～



定価: 1320円 (本体1200円+税10%)

ISBN: 978-4-276-35707-5

判型: B6変型判・本文96頁

著者プロフィール

小宮 正安 (ロミヤ マサヤス)

ヨーロッパ文化史・ドイツ文学研究家。秋田大学准教授を経て、横浜国立大学(大学院都市イノベーション研究院・都市科学部)教授。著書訳書に、『エリザベートと黄昏のハプスブルク帝国』(創元社)、『チャールズ・バーニー音楽見聞録 ドイツ篇』(春秋社)、『コンスタンツェ・モーツァルト <悪妻>伝説の虚実』(講談社選書メチエ)、『モーツァルトを「造った」男 ケッヘルと同時代のウィーン』(講談社現代新書)、『ウィーン楽友協会200年の輝き』(集英社新書)など多数。



・今後の候補曲

J.S.バッハ:《マタイ受難曲》 矢澤孝樹 著・・・4月下旬刊行予定

ブルックナー:交響曲第9番

チャイコフスキー:《くるみ割り人形》

マーラー:交響曲第9番



音楽之友社

<https://www.ongakunotomo.co.jp/>

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30

TEL.03 (3235) 2151 FAX.03 (3235) 2148 (営業)

ON BOOKS advance

ON BOOKSは、1976年に音楽之友社より刊行が開始された入門者向けシリーズです。その発展形である本シリーズは、ON BOOKSによってクラシック音楽を楽しむようになった方をはじめとして、ある程度各楽曲を好きで親しんでいる方に向けて「その曲を多方面から極められるように」編集。選曲は、基本的に「人気は高いが全貌が掴みにくい、比較的長い、知っているもさらに掘り下げ甲斐がある、いつか極めたいと思われる」などに該当する曲。「総論、楽曲の魅力」「楽曲解説」「演奏・録音」を基本として構成しています。

大好評発売中!! この1冊で、あの曲を多方面から詳解!



もっときわめる! 1曲1冊シリーズ

定価:各1320円(本体1200円+税10%)
B6変型判・本文96~104頁

① ベートーヴェン:交響曲第9番

相場ひろ 著

ISBN: 978-4-276-35701-3

『レコード芸術』『音楽の友』誌のディスクレビューや、京都市響・新日本フィルの演奏会プログラムの解説執筆を務める相場ひろ氏が執筆。基本的な《第九》の魅力を押さつつ、名盤12選のうち5点を21世紀の録音から選出するなど、ここ数十年の《第九》の新しい潮流も意欲的に扱っている。

② ストラヴィンスキー:《春の祭典》

満津岡信育 著

ISBN: 978-4-276-35702-0

『レコード芸術』誌の新譜月評やNHK-FM「名演奏ライブラリー」で案内役を務める満津岡信育氏が執筆。初演以来100年を過ぎてもいまだに革命的であり激動のさなかにある本曲の辿った歴史が一望でき、モントゥー(1956年)からヤルヴィ(2019年)までの「名盤30」、《春祭》が得意な指揮者、珍盤・レア盤、ハレエのDVDなど圧巻の内容。

③ ワーグナー:《トリスタンとイゾルデ》

広瀬大介 著

ISBN: 978-4-276-35703-7

青山学院大学教授で、オペラ公演・映像の字幕・対訳、各種音楽媒体での評論を務める広瀬大介氏が執筆。なぜ《トリスタン》という作品が孤高の輝きを放ち音楽史において特別な作品であるかを解くとともに、鑑賞に適切なかたちでの楽曲解説を行う。また「上演史」「名盤10選」「映像作品6選」による上演・録音史も秀逸。

④ シューベルト:《冬の旅》

喜多尾道冬 著

ISBN: 978-4-276-35704-4

作曲当時の時代背景や人の苦悩を現代と重ね合わせ、人間の孤独とその救いを描きながら楽曲の魅力伝える1章、平易な言葉で各曲の内容と聴きどころをわかりやすく解説する2章、男声・女声・編曲・映像の4篇別に、時代を映す鏡となる演奏の変遷を語る3章からなる。シリーズの機能要素を持ちつつ、1つの文学作品とも言える圧巻の1冊。

⑤ J.S.バッハ:《無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ》

那須田務 著

ISBN: 978-4-276-35705-1

楽曲の成立事情、各曲のみならずソナタとパルティータ全体、各舞曲についても詳解。ヴァイオリンの演奏スタイルや楽器の変遷とともに本曲の演奏・録音史、名盤30選を紹介。作曲から300年を経ても至高の輝きに満ちるその魅力を語り尽くす。

⑥ フォーレ:《レクイエム》

相場ひろ 著

ISBN: 978-4-276-35706-8

楽曲の成立過程、フォーレにおける「レクイエム」の独自性、作曲当初より演奏されていた大編成版(1900年版)と近年出版された小編成版(1893年版)の詳細、演奏・録音史と名盤30点余、日本人が愛してやまない本曲の魅力が多角的に紹介。

豪華執筆陣 profile



相場ひろ
(アイバ・ヒロ)

1962年生まれ。81年より京都在住。90年から93年までバリ留学、99年より翌年までジュネーブ在住。現在は大学でフランス語を教えると共に、文学などの講義を担当する。雑誌『レコード芸術』『音楽の友』などにディスクレビューを中心としたクラシック音楽に関する文章を寄稿する。また京都市交響楽団や新日本フィルハーモニー交響楽団などの演奏会プログラム用の曲目解説や、CDのライナーノーツを多数執筆している。



満津岡信育
(マツオカ・ノブヤス)

1959年東京都杉並区生まれ。音楽評論家。コピーライターを経て、40歳を目前にして名刺に音楽ライターと刷り込んで以来、音楽誌やCDのライナーノーツの執筆を中心に活動中。内外の音楽家へのインタビューも数多く手がけている。「レコード芸術」誌では、新譜月評で交響曲を担当。編著に『200DVD映像で聴くクラシック』(学習研究社)がある。2016年からNHK-FMの「名演奏ライブラリー」で案内役を務めている。



広瀬大介
(ヒロセ・ダイスケ)

音楽学者、音楽評論家。1973年生まれ。青山学院大学教授。日本リヒャルト・シュトラウス協会常務理事・事務局局長。著書に「リヒャルト・シュトラウス自画像としてのオペラ」(アルテスパブリッシング、2009)、「帝国のオペラ」(河出書房新社、2016)など。各種音楽媒体での評論活動のほか、NHKラジオへの出演、演奏会曲目解説・CDライナーノーツ、オペラ公演・映像の字幕・対訳等の寄稿多数。



喜多尾道冬
(キタオ・ミチフユ)

1936年和歌山県生まれ。東京大学大学院修士卒。ドイツ文学専攻。中央大学名誉教授。芸術全般を対象とする形象研究。著書に「フェルメール一窓からの光」(講談社)、「音楽の悪魔」「ムーサの贈り物」(音楽之友社)、「シューベルト」「気球の夢一空のユートピア」(朝日新聞社)、など。



那須田務
(ナスダ・ツトム)

ケルン大学音楽学修士修了。帰国後2023年まで洗足学園音楽大学で音楽学を講じる。また、ラジオ番組への出演や新聞雑誌への寄稿など音楽評論家として活動。共訳書にアーンケル著「音楽は対話である」(アカデミア・ミュージック)、監修共著書「ビジュアルで楽しむピアノの世界」(Gakken)、著書「音楽ってすばらしい」(ポプラ社)、「名曲名盤バッハ」(音楽之友社)等。長年『レコード芸術』誌の新譜月評「音楽」を担当。「音楽の友」誌レギュラー執筆者。